

資料3 実務研修内容【分野別】

以下の内容を参考にして講義・演習が組み立てられます。

1) 臨床栄養分野

臨床栄養（項目番号：R23-101～111、R23-200）

科目名	病態栄養	単位数	講義 6 単位 演習 5 単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。 【講義】 1) 消化器疾患 2) 代謝疾患 3) 呼吸器疾患 4) 循環器疾患 5) 腎疾患 6) 血液疾患 7) その他の疾患 8) 周産期医療 9) 救急・救命医療 10) 外科疾患と栄養 11) 緩和医療 【演習】 グループワーク：症例検討			

臨床栄養（項目番号：R23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 食物アレルギーの病院におけるガイドラインを周知し、常食・治療食におけるアレルギー代替食を提供するスキルを習得し実践できる。また、食物アレルギーに対する栄養食事指導を適切に行うことができる。 【講義内容】 ・食物アレルギーの最新情報 ・病院におけるアレルギー対応ガイドライン ・常食・治療食時の代替食の考え方 ・摂食・誤食防止への対応			

臨床栄養（項目番号：R23-118、R23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

臨床栄養（項目番号：R23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

臨床栄養（項目番号：R23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 食事提供にかかる衛生管理基準を習得し、医療従事者としての衛生管理のための業務上の注意点を学び、病院における衛生管理を適切に実施できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な食材料の発注・検収・在庫管理を行うための適切な管理基準と体制 ・7S の理解 ・一般衛生管理プログラムの理解 ・HACCP 衛生管理の理解 ・病院栄養士・管理栄養士にゆだねられる衛生管理 			

臨床栄養（項目番号：R43-102、R43-202）

科目名	栄養評価 (栄養アセスメント)	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 臨床での栄養アセスメントは、栄養診断、栄養介入を目的に患者の栄養状態を種々の栄養指標を用いて適切に評価することが重要である。栄養アセスメントによる経済的・臨床的栄養状態の評価とその効果を内外に公表するためのスキルを習得し、適切な栄養評価を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養アセスメントによる経済的・臨床的栄養状態の評価 ・ 病態別、対象者別栄養評価 ・ 評価を公表するための統計処理 ・ 評価を公表するための研究発表スキル <p>【演習】 グループワーク：症例検討 1 グループ 5～6 人で構成するグループでディスカッションする。個々に症例の栄養スクリーニング、栄養アセスメントを行った後、グループディスカッションして、栄養評価（アセスメント）結果を関係他職種に根拠に基づき説明する。</p>			

臨床栄養（項目番号：R44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養指標による栄養アセスメント 寄与する危険因子・原因の決定 病因と身体徴候・症状 栄養診断の実施と記録（PES 報告） 			

臨床栄養（項目番号：R45-105、R45-205）

科目名	栄養管理計画と再評価	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 栄養管理をするにあたって、栄養管理者は対象者一人ひとりについて適切な栄養の指導をし、問題を解決しなければならない。そのためには、一人ひとりの情報を把握し、評価・判定（栄養診断）、計画立案、実施・モニタリングを繰り返し問題解決するための栄養管理計画書を作成し、それにそった栄養管理を行うことができる。</p> <p>さらに院内での栄養管理体制の見直しと、他職種と連携がスムーズに行えるための環境整備を実施することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養管理計画の評価 病態別栄養管理計画作成 栄養管理体制の見直し及び他職種連携 栄養管理計画の効果指標 <p>【演習】 受講者の提出した事例・症例を基にグループワークで討議し、その事例・症例に対しての栄養管理計画作成と効果指標を検討する。</p>			

臨床栄養（項目番号：R45-107、R45-207）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①栄養素の代謝についての知識を元に、経腸、経静脈、経口での栄養管理法を理解し、適切に選択、提案することができる。 ②合併症の対応法を学び、病態別、対象者別の栄養補給について、それぞれに対応した最善の栄養補給法が提案できる。 ③病態別、対象者別の栄養補給の効果と改善点について提案することができる。 <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病態別栄養素の代謝について（合併症・重症者・ICU・HCU） 経腸栄養製品（剤）や栄養補助食品の種類と内容 静脈栄養剤の種類と内容 栄養補給法を選択と評価について <p>【演習】 グループワーク：症例検討</p>			

臨床栄養（項目番号：R46-106、R46-206）

科目名	栄養指導（個人）	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>①合併症を理解し、病態を改善するための栄養食事指導ができる。 ②栄養食事指導の報告を SOAP 方式で記録できる ③栄養食事指導の成果を、発表することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養食事指導の情報を多職種での共有と、栄養治療への活かし方 ・栄養評価に基づいた効率的なプランの作成 ・POS の考え方と SOAP 方式による栄養指導記録 ・診療情報としての活用 ・栄養指導プランの作成 ・指導報告書の作成（SOAP 方式） ・高度なコーチング技術 ・行動科学・心理学 ・指導効果の統計処理 <p>【演習】 グループワーク：症例検討</p> <p>1) 1 グループ 7~8 人で構成し、テーマに沿って提示された症例について検討し、意見をまとめて発表する。 2) 各グループの発表に対する質疑応答とまとめ</p>			

臨床栄養（項目番号：R47-103、R47-203）

科目名	栄養指導（集団）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①同じ疾患を持った集団に対しての指導内容を計画・立案し、スムーズな運営ができる ②栄養指導・教室のグループダイナミクスの効果発揮ができる運営が行なえる。 ③会話をとおして対象者の心理を把握し、対象者の心理ステージに合わせた指導技法を駆使することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループダイナミクス ・心理ステージと行動理論 ・集団指導の効果と統計処理 <p>【演習】 グループワーク</p> <p>1) 1 グループ 7~8 人で構成し、下記のテーマで集団指導の目的や実施上の注意事項を話し合い、まとめて発表する。 a) 食事療法の意義 b) 嗜好品について c) 献立の調整 d) 外食の取り方 e) 減塩食の取り方 など</p> <p>2) 各グループの発表に対する質疑応答</p> <p>3) 主な疾患 a) 糖尿病 b) 腎臓病 c) 肝臓病 d) 高血圧 e) 脂質異常症 f) 心疾患 g) 呼吸器疾患 h) その他疾患</p>			

臨床栄養（項目番号：R411-101、R411-201）

科目名	チーム医療	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>チーム医療における管理栄養士・栄養士の役割について学ぶ。</p> <p>①各チームの特徴とチームの一員としての栄養管理技術を習得する。 ②チーム医療に参画し、管理栄養士・栄養士の役割を果たすことができる。 a) 栄養サポートチーム、b) 褥瘡対策チーム、c) 緩和ケアチーム、d) 糖尿病教育チーム、 e) 感染対策チーム、f) 心臓リハチーム、g) 摂食嚥下チームなど</p>			

【講義内容】

- ・ホスピタリティマナー
- ・各チームの必要性とチーム活動に必要な知識
- ・カンファレンス・回診参加のためのコミュニケーションスキル
- ・各チームにおける管理栄養士の役割の理解

【演習】 グループワーク

臨床栄養（項目番号：R411-102、R411-202）

科目名	クリティカルパス	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 ①クリティカルパスの必要性とその意義について、疾患別の標準的な治療計画書と栄養管理計画から効果的な運用について知識を習得する。 ②クリティカルパスの作成：栄養管理の精度を高めるための計画を提案し、定期的な見直しを行うためのポイントを学びパスを作成する。 ③食事提供の視点、栄養食事指導、栄養介入・評価の視点から、パスを検討し、効果的に運用することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパスの意義 ・クリティカルパスの種類と運用 ・クリティカルパスの内容の評価と評価方法 ・定期的なパスの見直し ・食事提供の視点からのパス運用 ・栄養食事指導からのパス運用 ・栄養介入・評価の視点からのパス運用 			
【演習】 グループワーク			

臨床栄養（項目番号：R412-101、R412-201）

科目名	医療連携	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
【目標】 医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。 地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・退院時サマリー（情報提供書）の目的と必要な情報 ・地域医療連携支援と栄養管理情報 ・医療連携のシステム構築のための環境整備 ・連携施設の管理栄養士・栄養士との情報交換 多職種連携のあり方			
【演習】 グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1) 多職種による栄養管理に関するディスカッション 2) チーム医療において管理栄養士・栄養士として栄養管理の提案ができる 			

臨床栄養（項目番号：R50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】</p> <p>①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。</p> <p>②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。</p> <p>③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。</p> <p>④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内の医療安全のマニュアル作成 ・ 栄養間におけるリスク把握と医療安全 ・ インシデント・アクシデント報告書と業務改善方法 ・ 事故分析と再発防止、体制づくり 			

臨床栄養（項目番号：R50-104、R50-204）

科目名	院内感染対策	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を学び、院内感染対策を計画し、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の理解、院内感染対策マニュアルへの対応 ・ 標準予防策の実施 ・ 課内における感染症発生時の役割分担 ・ 栄養部門内の感染対策整備と院内感染防止のための体制づくり 			

臨床栄養（項目番号：R61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。</p> <p>②非常食に関する備えや運用について説明できる。</p> <p>③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マニュアルにもとづいた緊急時行動計画 ・ 非常食の種類と具体的活用法（備蓄量・消費期限） ・ 非常時の対応スキル ・ 非常時の食事提供対策の運用法 			

臨床栄養（項目番号：R71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

臨床栄養（項目番号：R72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行うことができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れと指導 ・ 職場の後進の指導 ・ 同僚・多職種とのコミュニケーションのあり方 			

2) 学校栄養分野

学校栄養（項目番号：G21-102～103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21-102～103）に準じる。			

学校栄養（項目番号：G21-105～108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、児童生徒への指導に活用する。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21-105～108）に準じる。			

学校栄養（項目番号：G23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①食物アレルギーがある児童生徒も、楽しく安全な学校生活を送り、成長に合わせた十分な栄養が摂取できる給食提供の対応方法を習得する。 ②児童生徒及び保護者に対して、個別的な相談食事指導の要点を理解する。 ③各校（施設）において作成された食物アレルギー対応マニュアルをもとに個別対応ができる。 【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーの最新情報 ・ 食物アレルギーに対する個別的な栄養相談の方法 ・ 学校給食提供時における対応の方法 			

学校栄養（項目番号：G25-101）

科目名	栄養生理 栄養素と代謝	単位数	講義 4 単位
【目標】 管理栄養士・栄養士の専門性を生かすための栄養生理学の基礎をさらに深め、児童生徒に栄養素と代謝について説明し、食育の推進を図ることができる。 【講義項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝の仕組み ・ 糖質代謝（糖質の構造・機能・代謝） ・ たんぱく質代謝（アミノ酸の代謝） ・ ミネラル代謝 ・ 脂質代謝 ・ 免疫 ・ 消化・吸収不良の病態 ・ 血液循環 ・ 腎臓機能 			

学校栄養（項目番号：G25-102）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養食事指導ができる。</p> <p>【講義項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体の構造と機能及び疾病の成り立ち ・ 栄養成分の構造と機能 ・ エネルギー代謝 ・ 栄養素と代謝 ・ 臨床栄養 			

学校栄養（項目番号：G32-101、G32-201）

科目名	学校給食摂取基準	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 日々の給食献立は地域性及び子どもの実態を把握し、個々の学校での学校給食摂取基準を算定し、作成をする必要がある。学校給食摂取基準の算定方法や個に応じた給食の提供方法等を理解し、個々の学校に合わせて学校食事摂取基準を作成することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食摂取基準の活用 <p>【演習】 データ入力の実際</p> <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準</p>			

学校栄養（項目番号：G34-101）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学校給食食事摂取基準を活用し、個々に合わせた給食提供ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食摂取基準値について ・ 給食施設別の給食摂取基準値の算出 ・ 特別支援学校の給食運営の特徴の理解 ・ 個別対応児童への献立作成のあり方 			

学校栄養（項目番号：G34-102）

科目名	献立作成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学校給食の管理運営について理解し、食育を行う上で教材となる献立作成ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食摂取基準に基づいた魅力ある献立作成 ・ 児童生徒の食品構成表の作成 ・ 地産地消、郷土食への取り組みと献立への工夫 			

学校栄養（項目番号：G35-101）

科目名	食材料管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 多彩な学校給食の管理運営について理解し、適切な食材管理ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材料に関する法的規制等の理解 ・ 適切な食材料の発注・検収・在庫管理のあり方 ・ 食材料に関する経営管理分析 			

学校栄養（項目番号：G35-103）

科目名	配膳・調理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学校給食の管理運営について理解し、配膳・調理指導ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食数管理・配膳時間の調整について ・ 単独校調理、センター方式の特徴と理解 ・ 適切な調理から片付けまでの指導を行うための作業手順書の整備 ・ 調理体制の整備と評価・改善への取り組みについて 			

学校栄養（項目番号：G37-102）

科目名	学校給食における衛生管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調理や食材料管理をする上で必要な衛生管理について学び、安全でおいしい給食を提供することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理作業指示書作成手順 ・ 作業工程表・作業動線図を作成する ・ 適切な食材料の発注・検収・在庫管理を行うための適切な管理基準と体制 ・ 衛生について児童生徒や教職員への指導 <p>【参考図書】 調理場における衛生管理&調理技術マニュアル（文部科学省） 学校給食調理従事者研修マニュアル（文部科学省）</p>			

学校栄養（項目番号：G43-101、G43-201）

科目名	スポーツ栄養マネジメント（アセスメント）	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 アスリートや健康の維持増進のために身体活動量が多い対象者に対して必要なアセスメントについて、理解・実践できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS43-101）に準じる。</p>			

学校栄養（項目番号：G44-102）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 発育測定等でのデータや成長曲線作成、食事摂取状況などから個々の児童生徒の発達について総合的に栄養診断ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な栄養指標による栄養アセスメントと栄養診断 食事摂取基準に対応した栄養アセスメントと栄養診断 寄与する危険因子の決定 栄養ケアの記録 			

学校栄養（項目番号：G45-106）

科目名	栄養管理計画	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養ケアプロセスに従って児童生徒の喫食量や生活習慣に配慮した指導方法を理解し、食育に活用できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養診断に基づいた適切な指導方法 栄養診断に基づいた献立のあり方 			

学校栄養（項目番号：G46-101）

科目名	対象者理解	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 初等・中等諸学校での対象者を理解し、児童生徒の発達に応じた食育の推進を図ることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中・高・特別支援学校の教育特性を理解する 児童生徒の発達段階を理解する 発達に応じた接し方や言葉のあり方 			

学校栄養（項目番号：G46-102、G46-202）

科目名	カウンセリング技法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 肥満・痩身・アレルギー・偏食、さらには生活習慣病などの児童生徒に対して個別指導は重要な課題である。児童生徒や保護者から信頼を得られるカウンセリングの方法や技術を習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別指導と集団指導の特徴 個別指導に必要とされる技法 <p>【演習】 グループワーク カウンセリング技法の実践</p>			

学校栄養（項目番号：G46-109）

科目名	個別指導（食事指導・食事管理）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した個別指導の実際について習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した食事指導（肥満・痩身・貧血・糖尿病） 			

学校栄養（項目番号：G46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるように行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動科学とは ・ 評価のあり方 ・ 偏食を治すための指導方法 			

学校栄養（項目番号：G47-101、G47-201）

科目名	対象者に合わせた効果的な情報提供方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 食に関する指導を行う上で、指導内容が効果的に対象者に伝わるような方法を習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「伝えたいことと知りたいことの溝を埋めるとは」とは ・ 対象者に合わせた最適なプレゼン方法 ・ 伝えたい情報に対しての資料等の活用方法 ・ パワーポイント資料作成時の注意点 <p>【演習】 グループワーク 対象者に合わせた効果的な情報提供方法について</p>			

学校栄養（項目番号：G47-102）

科目名	集団栄養指導	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学級・学年・全校集会・保護者対象等、食育を行う集団に合わせた指導について理解し、計画立案、教材作成、指導を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者の食生活評価と栄養食事指導計画の作成法 ・ 食育指導教材の作成の進め方 ・ 行動化学的技法を用いた食育の指導法について ・ 給食時間や教科での食育の指導の進め方 			

学校栄養（項目番号：G411-103）

科目名	多職種連携①	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 仕事の効率化を図るために教職員・委託会社等の他、教育委員会・関係役所等と連携し、円滑に職務を遂行する方法を身につけ、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級担任・養護教諭との連携推進の意義 ・ 多職種との連携事業の効果的な進め方 ・ チームでの問題解決手法について 			

学校栄養（項目番号：G412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 保護者・地域住民との関わりや地域の生産者との円滑な交流などを通して、食育の推進に共通理解を図り、協力を得ることができるよう、食育コーディネーターとしての役割を果たすことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域の連携した食育活動について ・ 地域の食育機関との連携の進め方 ・ 地域の食育関連事業への関わり方 ・ 地域の食育コーディネーターとしての役割 			

学校栄養（項目番号：G412-104）

科目名	学校・家庭・地域が連携した食育の推進	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が食に関する理解を深め、日常生活の中で実践していくためには、家庭や地域と連携を図ることが必要である。その考え方や方法を習得し、学校・家庭・地域との連携・調整の要としての役割を果たすことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携の基本的な考え方 ・ 家庭との連携の進め方 ・ 地域との連携の進め方 <p>【参考図書】 食に関する指導の手引き ー第一次改訂版ー （文部科学省）</p>			

学校栄養（項目番号：G50-103）

科目名	校内感染対策	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 幼児から高校生までを扱う学校保健分野での感染症について理解し、日々の衛生管理に活かすことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における感染症の理解 ・ 感染症予防策の実施 ・ 感染症発生時の対応と役割分担 ・ 給食従事者の衛生管理対策整備と体制づくり 			

学校栄養（項目番号：G61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応スキルを習得する。 ②非常食に関する備えや運用について学ぶ。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制の構築ができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61-101）に準じる。</p>			

学校栄養（項目番号：G71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

学校栄養（項目番号：G72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学校給食に関する日常業務を、実習生に指導するための計画立案や実務を通じた適切な指導を行うスキルを学ぶ。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し実践することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R72-101）に準じる。</p>			

3) 健康・スポーツ分野

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS21-101）

科目名	生活習慣病の発症予防と重症化予防	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 がん、循環器疾患、糖尿病及び COPD（慢性閉塞性肺疾患）対処するため、一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、合併症の発症予防や症状の進展等の重症化予防に重点をおいた対策が立案できる能力を身につけることができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P21-101）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS21-102、103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。</p> <p>【講義内容】 1) 身体活動基準・指針の経緯、目的、エビデンスの理解と活用 2) たばこ、睡眠、休養に関する知識の習得と指導での活用</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS21-104）

科目名	地域診断の進め方	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 地域住民の食生活及び健康や生活習慣の実態をモニタリングする方法を学び、栄養・健康増進政策にいかすことができる。</p> <p>①集団の健康評価の必要性を理解し、さまざまな栄養・健康増進政策による介入の効果を予測し、政策の選択、政策の実施、政策の評価ができる。</p> <p>②政策の効果的・効率的な実施のために、地域の現状やニーズに合った計画策定と、実施後の評価及びそれに基づく計画・実施の修正ができる。</p> <p>③特定検診のデータ、医療情報（レセプトデータ）と地域で実施した健康・栄養調査等の特徴を理解し、総合的な解釈を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P21-104）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS21-105～108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、活用する。</p> <p>【講義内容】 1) 公認スポーツ栄養士の役割と活用 2) アスリートのタンパク質の摂取 3) アスリートの糖質の摂取 4) アスリートのサプリメントの活用とドーピング</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-101～111）

科目名	病態栄養	単位数	講義 6 単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を行うことができる。 【講義内容】 臨床栄養（R23-101～111）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 食物アレルギーの病院におけるガイドラインを周知し、常食・治療食におけるアレルギー代替食を提供できるようなスキルを習得し、実践できる。また、食物アレルギーに対する栄養指導を適切に行うことができる。 【講義内容】 臨床栄養（R23-112）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-114）

科目名	小児の発育・発達	単位数	講義 3 単位
【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた栄養の指導をすることができる。 【講義内容】 福祉栄養（児童）（FG23-114）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-116）

科目名	成人期の栄養	単位数	講義 2 単位
【目標】 成人期の身体メカニズムを理解し、生活習慣病の重症化防止に日々の食事が大きく影響していることを理解し、食事管理に活かす事ができる。 【講義内容】 給食管理（K23）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-117、KS23-217）

科目名	高齢者の栄養政策	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
【目標】 高齢者の食について理解し、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。住民が社会生活を営むために必要な機能を維持・向上できるよう支援することができる。 【講義内容】【演習】 公衆栄養（P23）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS25-101）

科目名	栄養生理 栄養素と代謝	単位数	講義 4 単位
【目標】 管理栄養士・栄養士の専門性を生かすための栄養生理学の基礎をさらに深め、児童生徒に栄養素と代謝について説明し、食育の推進を図ることができる。 【講義項目】 学校栄養（G25）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS25-102）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 3 単位
【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養食事指導ができる。 【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS30-104）

科目名	フードサービス	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設におけるフードサービスのあり方を学び、提案や改善ができる。 【講義内容】 給食管理（K31）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食運営施設における衛生管理基準を理解し、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得し、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K37）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS43-101、KS43-201）

科目名	スポーツ栄養マネジメント（アセスメント）	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 アスリートや健康の維持増進のために身体活動量が多い対象者に対して必要なアセスメントについて、理解・実践できる。 【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体組成の測定法と評価法 ・ エネルギー消費量の推測（算出）方法と評価法 ・ トレーニング計画の理解（トレーニングの原理原則の理解） 			

【講義内容】

- ・ 身体組成の測定
- ・ エネルギー消費量の計算

【演習内容】

事例を用いて、身体組成やエネルギー消費量の評価を演習する。

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS44-102）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。 【講義内容】 学校栄養（G44-101）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS45-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメントの理解と活用	単位数	講義 4 単位
【目標】 アスリートや身体活動量の多い対象者に対する栄養管理法としてスポーツ栄養マネジメントを理解し、活用できる。 【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ栄養マネジメントの理解 ・ アスリートの栄養管理の実際と活用 ・ アスリートの食事・食生活の特徴 ・ アスリートの献立の特徴 			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS46-101）

科目名	対象者理解	単位数	講義 1 単位
【目標】 初等・中等諸学校での対象者を理解し、児童生徒の発達に応じた食育の推進を図ることができる。 【講義内容】 学校栄養（G46-101）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS46-102、KS46-202）

科目名	カウンセリング技法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 肥満・痩身・アレルギー・偏食、さらには生活習慣病などの児童生徒に対して個別指導は重要な課題である。児童生徒や保護者から信頼を得られるカウンセリングの方法や技術を習得し、実践できる。 【講義内容】【演習】 学校栄養（G46）に準じる。			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS46-109）

科目名	個別指導（食事指導・食事管理）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した個別指導の実際について習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS46-110、KS46-210）

科目名	指導媒体の有効性と作成・活用方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 媒体の役割や作成方法・活用方法について学び、効果的な栄養食事指導に結び付けることができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 地域栄養（T46）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるように行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS47-107、KS47-207）

科目名	食育と地域貢献	単位数	講義 1 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 ①地域に根ざした、食育活動ができる。 ②伝統的な郷土食の伝承と地域の産物を活かしたレシピの開発ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 地域栄養（T47-107）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。 ②非常食に関する備えや運用について説明できる。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究の目的、種類と方法 ・ データの解析・分析、結果や考察のまとめ方 ・ 研究上の倫理的配慮、個人情報の管理 ・ 文献検索等 			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 日常業務を遂行する上での行政業務と根拠法令を理解する。 臨地実習の受け入れにおいて計画的な実施と適切な指導を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R72）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS90-101）

科目名	財務給食管理能力	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 給食管理施設における財務数値管理の能力を磨き、実践できる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS90-102）

科目名	人事・労務管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 給食管理施設の人事や労務管理について理解を深め、交渉や改善への提案ができる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。</p>			

健康・スポーツ栄養（項目番号：KS 90-103、KS 90-203）

科目名	開業栄養士としての基礎知識	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 経営ノウハウを学び、個人事業主として、社会的信用・信頼を得て、収入の得られる仕事を獲得し、開業栄養士として、事業を継続することができる（開始することができる）。</p> <p>【講義内容】【演習】 地域栄養（T90）に準じる。</p>			

4) 給食管理分野

給食管理（項目番号：K21-101、K21-201）

科目名	生活習慣病の発生予防と重症化予防	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 生活習慣病の発生を予防し、重症化を予防するための考え方を学び、重症化予防に役立つ給食の提供ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国におけるリスク要因別の生活習慣病死亡者の現状 ・健康日本 21(第2次)に示された、栄養・食生活目標設定の考え方 ・栄養・食生活の目標と生活習慣病予防との関連 <p>【演習】 提供献立の改善 新規献立の作成 発表検討等</p>			

給食管理（項目番号：K21-102、K21-103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 的確なアドバイスやサポートができるようスポーツ栄養の基本的事項を学び、スポーツをする対象者に健全な栄養管理を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) スポーツ栄養の基礎・基本 2) スポーツをする対象者の栄養管理 			

給食管理（項目番号：K21-104）

科目名	地域診断の進め方	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 健康を支え、守るための社会環境の整備に向け、ソーシャルキャピタルの向上、多様な活動主体による自発的取組の推進、健康の維持増進に重点をおいた対策が立案できる能力を身につけることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルキャピタルの向上の取組について ・多様な活動主体による自発的取組の推進について ・健康格差の現状とその縮小に向けた取組について ・多職種との連携による政策立案プロセスなど事例を通じて学習する <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 健康日本 2 1（第二次）</p>			

給食管理（項目番号：K23-101～106）

科目名	病態栄養	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解を深め、効果的な食事を提示することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 消化器疾患 2) 代謝疾患 3) 呼吸器疾患 4) 循環器疾患 5) 腎疾患 6) 血液疾患 			

給食管理（項目番号：K23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 特定給食施設において、食物アレルギーのガイドラインを基にした指導が行える。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーの最新情報 ・ 食物アレルギー関連ガイドラインの理解 ・ 代替食の考え方 ・ 摂食・誤食防止への対応 <p>【関連図書】 食物アレルギー診療の手引き 食物アレルギーの栄養指導の手引</p>			

給食管理（項目番号：K23-116）

科目名	成人期の栄養	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 成人期の身体メカニズムを理解し、生活習慣病の重症化防止に日々の食事が大きく影響していることを理解し、食事管理に活かす事ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期の食を取り巻く現状と課題（生活習慣病の重症化等） ・ 代謝等の身体メカニズム ・ 成人期の栄養状態の把握 ・ 身体にあった食品の選択 			

給食管理（項目番号：K25-101）

科目名	栄養生理 栄養素と代謝	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 管理栄養士・栄養士の専門性を生かすための栄養生理学の基礎をさらに深め、児童生徒に栄養素と代謝について説明し、食育の推進を図ることができる。</p> <p>【講義項目】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

給食管理（項目番号：K30-103）

科目名	特定給食施設における栄養管理	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 特定給食施設利用者の栄養状態、身体状況の改善をはかるために、適切な栄養管理が行われるよう指導及び支援する力を身につける。 災害時等における健康危機管理対策の一環として施設内や地域の施設間連携に向けた支援体制も視野に入れたネットワーク形成ができる。 職能団体等と連携した専門職向け研修体制を整備することができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P30）に準じる。</p>			

給食管理（項目番号：K30-104）

科目名	フードサービス	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 給食管理施設におけるフードサービスのあり方を学び、提案や改善ができる。</p>			

【講義内容】

- ・ 対象者に応じたフードサービスの実際
- ・ フードサービスにおける心得
- ・ フードサービスへの提案・改善

給食管理（項目番号：K35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材料管理についてのノウハウを学び、実践できる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食施設の食材料の管理について ・ 給食施設の食材料の仕組みの理解 ・ 給食施設の食材料の改善について 			

給食管理（項目番号：K37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食運営施設における衛生管理基準を理解し、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得し、実践できる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な食材料の発注・検収・在庫管理を行うための適切な管理基準と体制 ・ 7S の理解と厨房設備・設計への取り組み ・ 一般衛生管理プログラムの理解 ・ HACCP 衛生管理の理解 ・ 給食施設における管理体制：最新の機器の特徴と使用法 ・ 厨房機器のレイアウト、クックチル等についての取り組み ・ 企業管理栄養士・栄養士にゆだねられる衛生管理 			

給食管理（項目番号：K39-101）

科目名	マーケティング	単位数	講義 2 単位
【目標】 フードサービス・給食市場マーケットを把握し、分析に基づいた改善や提案ができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ フードサービス・給食市場マーケットの理解 ・ マーケット分析のあり方 ・ マーケット分析に基づいた改善・提案 			

給食管理（項目番号：K43-103 K43-203）

科目名	栄養評価（アセスメント）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 集団を対象とした栄養評価(アセスメント)ができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団を対象にしたポピュレーションアプローチ 			
【演習】 事例によるグループワーク			

給食管理（項目番号：K46-112、K46-212）

科目名	食育教育	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 事業所給食を効果的に活用した栄養教育の進め方について理解できる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所給食を効果的に活用した栄養教育について ・ 事業所給食評価のあり方 			
【演習】 提供献立の改善 新規献立の作成 発表検討等			

給食管理（項目番号：K47-104、K47-204）

科目名	ポピュレーション対策としての生活習慣病予防	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 成人期の食について理解する。実践力を身につける。健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防に努め、勤労者が主体的に健康づくりを実践できるよう支援する力を身につける。			
【講義内容】【演習】 公衆栄養（P47）に準じる。			

給食管理（項目番号：K412-104）

科目名	多職種連携②	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理部門、健康管理部門、安全衛生部門 それぞれの役割を理解し、連携する事による効果的な健康管理の実践を学ぶ			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業環境、組織、関連法規の理解 連携の重要性の理解 ・ 他職種の中の養士・管理栄養士の役割 ・ 実践事例 			

給食管理（項目番号：K50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の理解、感染対策マニュアルへの対応 ・ 標準予防策の実施 ・ 感染症発生時の役割分担 ・ 栄養部門内の感染対策整備と感染防止のための体制づくり 			

給食管理（項目番号：K61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
【目標】 災害時防災マニュアルに基づいた危機管理に対し、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応スキルを習得し、非常食に関する備えや運用を行うことができる。			

【講義内容】

- ・ 防災マニュアルにもとづいた緊急時行動計画
- ・ 非常食の種類と具体的活用法（備蓄量・消費期限把握）
- ・ 非常時の対応スキルの学習
- ・ 非常時の食事提供対策の運用法
- ・ 労働災害への対応プロセス

給食管理（項目番号：K71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。			
【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。			

給食管理（項目番号：K80-101）

科目名	関連法規	単位数	講義 2 単位
【目標】 関連法規、制度の動向を把握し、事業所施設の目的、役割、業務内容を再確認するとともに、今後の方向性を踏まえた業務の見直しができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連法規の理解 ・ 改定内容についての補完 ・ 課題・改善案等の提案・検討 			

給食管理（項目番号：K90-101）

科目名	財務給食管理能力	単位数	講義 1 位
【目標】 給食管理施設における財務数値管理の能力を磨き、実践できる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食施設の財務数値の管理について ・ 給食施設の財務数値の仕組みについて ・ 給食施設の財務数値の改善について 			

給食管理（項目番号：K90-102）

科目名	人事・労務管理	単位数	講義 1 位
【目標】 給食管理施設の人事や労務管理について理解を深め、交渉や改善への提案ができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食施設の人件費の管理について ・ 給食施設の労務内容について ・ 給食施設の労務内容の改善について ・ 契約内容の提案・交渉について 			

5) 公衆栄養

公衆栄養（項目番号：P21-101、P21-201）

科目名	生活習慣病の発症予防と重症化予防	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 がん、循環器疾患、糖尿病及び COPD（慢性閉塞性肺疾患）対処するため、一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、合併症の発症予防や症状の進展等の重症化予防に重点をおいた対策が立案できる能力を身につけることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わが国におけるリスク要因別の生活習慣病死亡者の現状 ・ 健康日本 21（第二次）に示された、栄養・食生活目標設定の考え方 ・ 栄養・食生活の目標と生活習慣病予防との関連 ・ 保健と医療のつながりによる取組など政策立案プロセスの事例について <p>【演習】 事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 個人でケースを熟読 ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。 2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション 異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。 参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。 3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論） ④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。 <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 健康日本 21（第二次） 栄養ケアプロセス用語マニュアル</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-104）

科目名	地域診断の進め方	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 地域住民の食生活及び健康や生活習慣の実態をモニタリングする方法を学び、栄養・健康増進政策にいかすことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①集団の健康評価の必要性を理解し、さまざまな栄養・健康増進政策による介入の効果を予測し、政策の選択、政策の実施、政策の評価ができる。 ②政策の効果的・効率的な実施のために、地域の現状やニーズに合った計画策定と、実施後の評価及びそれに基づく計画・実施の修正ができる。 ③特定検診のデータ、医療情報（レセプトデータ）と地域で実施した健康・栄養調査等の特徴を理解し、総合的な解釈を行うことができる。 <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養・健康増進施策における評価の基本的な考え方について ・ データ活用の視点に立った調査の設計と実施について ・ 調査データの蓄積と活用について ・ データ解析と施策評価への活用について ・ 市町村と連携した調査の実施とデータ活用 <p>【参考図書】 健康増進施策推進・評価のための健康・栄養調査データ活用マニュアル 2011</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-105～108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、活用する。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-109、P21-209）

科目名	社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上のための施策形成	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①子供の健やかな発育と生活習慣、自殺者の減少、重い抑鬱や不安の低減と職場の支援環境、高齢者の社会参加と社会貢献活動などについて先進的な取組から政策形成プロセスを理解し、個々の地域にあわせた取り組みができる。</p> <p>②ライフステージに対応した取組などグループワークにより検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の作成ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の健やかな発育と生活習慣について ・ 自殺者の減少、重い抑鬱や不安の低減と職場の支援環境について ・ 高齢者の社会参加と社会貢献活動について ・ ライフステージに対応した取組など事例を通じた政策立案プロセスについて <p>【演習】</p> <p>事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。</p> <p>1) 個人でケースを熟読 ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。</p> <p>2) 小グループ（5～10人）によるディスカッション 異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。</p> <p>3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論） Ⓞ講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。</p> <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 健康日本21（第二次）</p>			

公衆栄養（項目番号：P21-110,210）

科目名	健康を支え、守るための社会環境の整備	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 健康を支え、守るための社会環境の整備に向け、ソーシャルキャピタルの向上、多様な活動主体による自発的取組の推進、健康格差の縮小などに重点をおいた対策が立案できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルキャピタルの向上の取組について ・ 多様な活動主体による自発的取組の推進について ・ 健康格差の現状とその縮小に向けた取組について ・ 地域住民との連携による政策立案プロセスなどの事例を通じた学習 			

【演習】

事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身に着ける。

1) 個人でケースを熟読

ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。

2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション

異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。

3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論）

④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。

【参考図書】

日本人の食事摂取基準
健康日本21（第二次）

公衆栄養（項目番号：P23-101~111）

科目名	病態栄養	単位数	講義5単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。 【講義内容】 臨床栄養（R23）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義1単位
【目標】 乳幼児健診及び特定給食施設指導において、食物アレルギーのガイドラインを基にした助言・指導ができる。 【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーの最新情報 ・ 食物アレルギー関連ガイドラインの理解 ・ 代替食の考え方 ・ 摂食・誤食防止への対応 【参考図書】 食物アレルギー診療の手引き 食物アレルギーの栄養指導の手引 2011			

公衆栄養（項目番号：P23-113、P23-213）

科目名	授乳・離乳の支援ガイド	単位数	講義1単位
【目標】 「授乳・離乳の支援ガイド」を理解し、成長・発達・生活に応じた、適切な「栄養の指導」ができる。母子手帳を活用し、家庭と一体となった離乳支援が実践でき、保護者の相談に応じることのできる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（FG23）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P23-114）

科目名	小児の栄養（子どもの発育・発達）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた「栄養の指導」をすることができる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-115）

科目名	小児の栄養（子どもの病態栄養）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 小児の疾患と病態栄養、栄養療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を実践することができる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-116）

科目名	成人期の栄養	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 成人期の身体メカニズムを理解し、生活習慣病の重症化防止に日々の食事が大きく影響していることを説明できる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P23-117、P23-217）

科目名	高齢者の栄養政策	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 高齢者の食について理解し、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。住民が社会生活を営むために必要な機能を維持・向上できるよう支援することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の食を取り巻く現状と課題（脳卒中、生活習慣病の重症化等） ・ 代謝等の身体のメカニズム ・ 後期高齢者健診データ、レセプトデータ分析 ・ 健診データからの栄養状態の把握 ・ からだに合った食品の選択の支援 <p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-118、P 23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 【演習】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 25-101）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養指導ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P30-101）

科目名	療養食	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 療養食の種類と特徴、療養食加算申請と療養食提供の手順を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養 FS30 に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P30-103）

科目名	特定給食施設における栄養管理	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 特定給食施設利用者の栄養状態、身体状況の改善をはかるために、適切な栄養管理が行われるよう指導及び支援する力を身につける。</p> <p>災害時等における健康危機管理対策の一環として施設内や地域の施設間連携に向けた支援体制も視野に入れたネットワーク形成ができる。</p> <p>職能団体等と連携した専門職向け研修体制を整備することができる。</p>			

【講義内容】

- ・ 特定給食施設利用者の身体状況の把握と改善について
- ・ 特定給食施設の栄養管理の状況に関するデータ活用の視点に立った評価について
- ・ 特定給食施設における栄養管理の効果的な実施について
- ・ 特定給食施設におけるリスクマネジメントと品質管理
- ・ 災害時の地域での施設間連携

公衆栄養（項目番号：P 31-101）

科目名	フードサービス	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設におけるフードサービスのあり方を学び、提案や改善ができる。			
【講義内容】 給食管理（K31）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P37-101）

科目名	公衆衛生における衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 公衆衛生における衛生管理基準と指導体制について学び、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得する。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な食材管理を行うための適切な管理基準と体制 ・ 一般衛生管理プログラムの理解 ・ HACCP 衛生管理の理解、大量調理施設衛生管理マニュアル ・ 公衆衛生管理栄養士・栄養士にゆだねられる衛生管理 			

公衆栄養（項目番号：P39-101）

科目名	マーケティング	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食市場マーケットを把握し、分析に基づいた改善や提案ができる。			
【講義内容】 給食管理（K39）に準ずる			

公衆栄養（項目番号：P 43-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメント（アセスメント）	単位数	講義 2 単位
【目標】 アスリートや健康の維持増進のために身体活動量が多い対象者に対して必要なアセスメントについて、理解・実践できる。			
【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS43）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。身体計測等のデータの蓄積から個々の対象者の栄養状態の判断（栄養診断）ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G44）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメントの理解と活用	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 アスリートや身体活動量の多い対象者に対する栄養管理法としてスポーツ栄養マネジメントを理解し、活用できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-105）

科目名	栄養管理計画と再評価	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 栄養管理をするにあたって、栄養管理者は対象者一人ひとりについて適切な栄養の指導をし、問題を解決しなければならない。そのために一人ひとりの情報をきちんと把握し、計画立案、判断、実施を繰り返し問題を解決していくために栄養管理計画書を作成し、それにそって栄養管理を行うことができる。さらに院内での栄養管理体制の見直しと、他職種との連携がスムーズに行えるための環境整備について学び実施することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-106）

科目名	栄養管理計画	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養ケアプロセスに従って、児童生徒の喫食量や生活習慣に配慮した指導方法を理解し、食育に活用できる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P45-107、P45-207）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①栄養素の代謝についての知識を元に、経腸、経静脈、経口での栄養管理法を理解し、適切に選択、提案することができる。 ②合併症の対応法を学び、病態別、対象者別の栄養補給について、それぞれに対応した最善の栄養補給法が提案できる。 ③病態別、対象者別の栄養補給の効果と改善点について提案することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R45）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P 45-108、P 45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS45）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-101）

科目名	対象理解	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 初等・中等諸学校での対象者を理解し、児童生徒の発達に応じた食育の推進を図ることができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-104）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P46-105、P46-205）

科目名	食事指導技術	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 地域で生活する高齢者・障がい者のニーズに応じた実用的な栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P46-107、P46-207）

科目名	次世代の栄養政策 1 妊産婦の食	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 妊産婦の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。胎児期は、子どもの成長発達の基礎的な部分を形成する重要な時期である。胎児の育ちや母体の変化について学び、母や父が安心して出産を迎えられるように支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦の食を取り巻く現状と課題（低体重出生児含む） ・ 代謝等の身体メカニズム （胎児を育てるための母体の変化、妊娠中のリスク、胎児の発育） ・ 妊婦健診データからの栄養状態の把握 ・ 自分に合った食品選択の支援 			

<p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 妊娠高血圧症候群管理ガイドライン 腎疾患患者の妊娠 日本腎臓学会編</p>

公衆栄養（項目番号：P46-108、P46-208）

科目名	次世代の栄養政策2 乳幼児の食	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 乳幼児の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。乳幼児期の成長発達理解し、親としての育児力を身につけることができるよう支援できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の食を取り巻く現状と課題「授乳・離乳の支援ガイド」等について ・ 代謝等の身体メカニズム （体格、消化吸収能力、咀嚼能力、味覚形成、食の自立行動、栄養、食のリズム） ・ 乳幼児健診データからの栄養状態の把握 ・ からだに合った食品の選択の支援 <p>【演習】 事例検討 ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 授乳・離乳の支援ガイド 離乳の基本</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるよう行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-112、P 46-212）

科目名	食育教育	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 事業所給食を効果的に活用した栄養教育の進め方について理解できる。</p> <p>【講義内容】 【演習】 給食管理（G46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 46-113、P 46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】 【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P47-104、P47-204）

科目名	ポピュレーション対策としての生活習慣病予防	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 成人期の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防に努め、住民が主体的に健康づくりを実践できるよう支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実態把握 ・ 代謝等の身体メカニズムと生活習慣病との関係の理解 ・ 特定健診データからの栄養状態の把握 ・ 自分に合った食品の選択の支援 ・ 各学会のガイドラインの理解 <p>【演習】事例検討 経年健診結果の読み解き ライフスタイルに考慮した栄養指導</p> <p>【参考図書】 日本人の食事摂取基準 肥満症治療ガイドライン 脂質異常症治療ガイドライン 動脈硬化症疾患予防ガイドライン 科学的根拠に基づく糖尿病治療診療ガイドライン 糖尿病治療ガイド 高血圧症ガイドライン 高尿酸血症・痛風ガイドライン CKD 診療ガイド、CKD 診療ガイドライン</p>			

公衆栄養（項目番号：P 47-105）

科目名	食育計画の評価	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童福祉施設の理念、方針、保育課程に位置づく「食育の計画」の必要性を確認し、食育の視点を含めた「食育の計画」作成に関わることができる。食事提供に関する計画の評価、改善に取り組み、全職員で評価、改善に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】福祉栄養（FG47）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P47-106、 P47-206）

科目名	食育の実践	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 課題の発見から検討、課題解決に向けた議論を施設全体で行い、効果的な指導の手法を学び、適切に選択できる。目的に添った指導内容を計画・立案・実践することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】福祉栄養（FG47）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P411-101、P411-201）

科目名	クリティカルパス	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①クリティカルパスの必要性とその意義について、疾患別の標準的な治療計画書と栄養管理計画から効果的な運用について知識を習得する。</p>			

- ②クリニカルパスの作成：栄養管理の精度を高めるための計画を提案し、定期的な見直しを行うためのポイントを学びパスを作成する。
- ③食事提供の視点、栄養食事指導、栄養介入・評価の視点から、パスを検討し、効果的に運用することができる。
- 【講義内容】【演習】臨床栄養（R411）に準ずる。

公衆栄養（項目番号：P412-102、 P412-202）

科目名	医療連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。</p> <p>地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】臨床栄養（R412）に準ずる</p>			

公衆栄養（項目番号：P412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>保護者・地域住民との関わりや地域の生産者との円滑な交流などを通して、食育の推進に共通理解を図り、協力を得ることができるよう、食育コーディネーターとしての役割を果たすことができる。</p> <p>【講義内容】学校栄養（G412）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P412-103）

科目名	地域連携②	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①地域の栄養ケア・ステーションシステムの現状把握と、活動概要を知る。</p> <p>②地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能を知る。</p> <p>③訪問栄養食事指導の流れについて知る。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養ケア・ステーションシステムと活動概要 ・ 地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能について ・ 訪問栄養食事指導について 			

公衆栄養（項目番号：P412-105）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（介護、介護予防、障害等）の課題を把握できる。</p> <p>②地域関係機関と連携し、課題解決に向け、地域の高齢者、障害者に応じた栄養マネジメント、ライフステージにおける食育等を実践できる。</p> <p>③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】【演習】福祉栄養（FS412）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。</p> <p>②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。</p> <p>③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。</p> <p>④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R50）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P 50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応スキルを習得する。</p> <p>②非常食に関する備えや運用について学ぶ。</p> <p>③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制の構築ができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準ずる。</p>			

公衆栄養（項目番号：P61-102,202）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。</p> <p>①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。</p> <p>②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災計画について ・ 災害発生時のフェーズごとの課題と行政栄養士の役割について ・ 避難所における栄養・食生活支援と要援護者対策について ・ 感染症発生時の対応について ・ 飲料水汚染発生時の対応について 			

【演習】

事例検討により、参加者が意思決定の擬似的な体験をすることで、課題解決のための現状分析や意志決定能力を身につける。

1) 個人でケースを熟読

ケースの論点は何かを考え、その論点にそって情報を収集・分析、問題点を整理し、その解決策を考える。

2) 小グループ（5~10人）によるディスカッション

異なる判断基準や価値観を有する仲間の考え方にふれ、自分の意見を修正し、洗練させていく。参加者の中からディスカッション・リーダーが出て進行する。

3) 全体討議（講師と参加者、参加者同士の討論）

④講師は、参加者の意見を引き出し、論点を整理、複数の解決策を促すこととし、1つの結論に導くことはしない。

【参考図書】

地域防災計画

公衆栄養（項目番号：P72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行うことができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。			
【講義内容】 臨床栄養（R72）に準ずる。			

公衆栄養（項目番号：P80-102）

科目名	関連法規	単位数	講義 2 単位
【目標】 日常業務を遂行する上での行政業務と根拠法令を理解する。			
【講義内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法規の理解 ・ 法令順守と法律の解釈 ・ 全ての職域の関連法令 			

公衆栄養（項目番号：P 90-101）

科目名	財務給食管理能力	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設における財務数値管理の能力を磨き、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。			

公衆栄養（項目番号：P 90-102）

科目名	人事・労務管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の人事や労務管理について理解を深め、交渉や改善への提案ができる。			
【講義内容】 給食管理（K90）に準じる。			

6) 地域栄養分野

地域栄養（項目番号：T21-101、T21-201）

科目名	生活習慣病の発症予防と重症化予防	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 がん、循環器疾患、糖尿病及び COPD（慢性閉塞性肺疾患）対処するため、一次予防に重点を置いた対策を推進するとともに、合併症の発症予防や症状の進展等の重症化予防に重点をおいた対策が立案できる能力を身につけることができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 公衆栄養（P21）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 21-102、103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 21-104）

科目名	地域診断の進め方	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 地域住民の食生活及び健康や生活習慣の実態をモニタリングする方法を学び、栄養・健康増進政策にいかすことができる。</p> <p>①集団の健康評価の必要性を理解し、さまざまな栄養・健康増進政策による介入の効果を予測し、政策の選択、政策の実施、政策の評価ができる。</p> <p>②政策の効果的・効率的な実施のために、地域の現状やニーズに合った計画策定と、実施後の評価及びそれに基づく計画・実施の修正ができる。</p> <p>③特定検診のデータ、医療情報（レセプトデータ）と地域で実施した健康・栄養調査等の特徴を理解し、総合的な解釈を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P21）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 21-105～108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 スポーツをする児童生徒が日々栄養管理に役立てていくための手法を学び、栄養管理の指導ができる。スポーツをする児童生徒が健全に発育・発達しながら目標に向かっていくか、確認しながら、的確なアドバイスやサポートができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 23-101～111）

科目名	病態栄養	単位数	講義 5 単位
<p>【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <p>1) 消化器疾患 2) 代謝疾患 3) 呼吸器疾患 4) 循環器疾患 5) 腎疾患 6) 血液疾患 7) その他の疾患 8) 周産期医療 9) 救急・救命医療 10) 外科疾患と栄養 11) 終末期緩和医療</p>			

地域栄養（項目番号：T 23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 食物アレルギーのガイドラインを周知し、アレルギー代替食を提供するスキルを習得し実践できる。また、食物アレルギーに対する栄養食事指導を適切に行うことができる。</p> <p>【講義内容】臨床栄養 R23、学校栄養 G23、給食管理 K23、公衆栄養 P23、福祉栄養 FG23 に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 23-113、T23-213）

科目名	授乳・離乳の支援ガイド	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 「授乳・離乳の支援ガイド」を理解し、成長・発達・生活に応じた、適切な栄養の指導ができる。母子手帳を活用し、家庭と一体となった離乳支援が実践でき、保護者の相談に応じることで、子育てを支援することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 23-114）

科目名	小児の発育・発達	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた「栄養の指導」をすることができる。</p> <p>【講義内容】福祉栄養（FG23）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 23-115）

科目名	小児の栄養	単位数	講義 3 単位

【目標】

小児の疾患と病態栄養、栄養療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を実践することができる。

【講義内容】 福祉栄養（FG23）に準じる。

地域栄養（項目番号：T 23-116）

科目名	成人期の栄養	単位数	講義 2 単位
【目標】 成人期の身体メカニズムを理解し、生活習慣病の重症化防止に日々の食事が大きく影響していることを理解できる。			
【講義内容】 給食管理（K23）に準じる。			

地域栄養（項目番号：T 23-117、T23-217）

科目名	高齢者の栄養政策	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
【目標】 高齢者の食について理解し、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。住民が社会生活を営むために必要な機能を維持・向上できるよう支援することができる。			
【講義内容】【演習】 公衆栄養（P23）に準じる。			

地域栄養（項目番号：T 23-118、T23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。			
【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS23）に準じる			

地域栄養（項目番号：T 23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。			
【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる			

地域栄養（項目番号：T 23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。			
【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。			

地域栄養（項目番号：T 23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS23）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 25-101）

科目名	栄養生理 栄養素と代謝	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 管理栄養士・栄養士の専門性を生かすために栄養生理学の基礎をさらに高め、児童生徒に栄養素と代謝について説明し、食育の推進を図ることができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 25 - 102）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養指導ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 30 - 102）

科目名	障がい特性	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病などの特性を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】 福祉栄養（FS30）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 30-104）

科目名	フードサービス	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 給食管理施設におけるフードサービスのあり方を学び、提案や改善ができる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K31）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 35-101）

科目名	食材料管理	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 多彩な学校給食の管理運営について理解し、適切な食材管理ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G35）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。</p> <p>【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 公衆衛生における衛生管理基準と指導体制について学び、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得する。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P37）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 43-101、T43- 201）

科目名	スポーツ栄養マネジメント（アセスメント）	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 アスリートや健康の維持増進のために身体活動量が多い対象者に対して必要なアセスメントについて、理解・実践できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS43）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 43-102、T43-202）

科目名	栄養評価（アセスメント）	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 臨床での栄養アセスメントは、栄養診断、栄養介入を目的に患者の栄養状態を種々の栄養指標を用いて適切に評価することが重要である。栄養アセスメントによる経済的・臨床的栄養状態の評価とその効果を内外に公表するためのスキルを習得し、適切な栄養評価を行うことができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R43）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R44）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 44-102）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 発育測定等でのデータの蓄積や成長曲線作成などから個々の児童生徒の発達が健全であるかの判断ができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G44）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 45-101）

科目名	スポーツ栄養マネジメントの理解と活用	単位数	講義 4 単位
<p>【目標】 アスリートや身体活動量の多い対象者に対する栄養管理法としてスポーツ栄養マネジメントを理解し、活用できる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS45）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 45-105、T45-205）

科目名	栄養管理計画と再評価	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 栄養管理をするにあたって、栄養管理者は対象者一人ひとりについて適切な栄養の指導をし、問題を解決しなければならない。そのためには、一人ひとりの情報を把握し、評価・判定（栄養診断）、計画立案、実施・モニタリングを繰り返し問題解決するための栄養管理計画書を作成し、それにそった栄養管理を行うことができる。</p> <p>さらに院内での栄養管理体制の見直しと、他職種と連携がスムーズに行えるための環境整備を実施することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R45）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 45-106）

科目名	栄養管理計画	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 栄養ケアプロセスに従って児童生徒の喫食量や生活習慣に配慮した指導方法を理解し、食育に活用できる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G45）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 45-107、T45-207）

科目名	栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>①栄養素の代謝についての知識を元に、経腸、経静脈、経口での栄養管理法を理解し、適切に選択、提案することができる。</p> <p>②合併症の対応法を学び、病態別、対象者別の栄養補給について、それぞれに対応した最善の栄養補給法が提案できる。</p> <p>③病態別、対象者別の栄養補給の効果と改善点について提案することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R45）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 45-108、T45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS45）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-104、T46-204）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 4 単位
<p>【目標】 介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-105、T46-205）

科目名	食事指導技術	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 地域で生活する高齢者・障がい者のニーズに応じた実用的な栄養の指導ができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-106、T46-206）

科目名	栄養指導（個人）	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 ①合併症を理解し、病態を改善するための栄養食事指導ができる。 ②栄養食事指導の報告を SOAP 方式で記録できる ③栄養食事指導の成果を、発表することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-107、T46-207）

科目名	次世代の栄養政策 1（妊産婦の食）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 妊産婦の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。胎児期は、子どもの成長発達の基礎的な部分を形成する重要な時期である。胎児の育ちや母体の変化について学び、母や父が安心して出産を迎えられるように支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】【演習】 公衆栄養（R46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-108、T46-208）

科目名	次世代の栄養政策 2（乳幼児の食）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 乳幼児の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。乳幼児期の成長発達理解し、親としての育児力を身につけることができるよう支援できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 公衆栄養（R46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T46-109）

科目名	個別指導（食事指導・食事管理）	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した個別指導の実際について習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T46-110、T46-210）

科目名	指導媒体の有効性とその活用方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 媒体の役割や作成方法・活用方法について学び、効果的な栄養食事指導に結び付けることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養食事指導における媒体の役割 ・ 栄養食事指導媒体の企画構成に必要な知識 ・ 市販既存媒体・会員作成媒体を知り、活用の仕方を学ぶ <p>【演習】 媒体の実演紹介とプロに学ぶ効果的媒体の作り方</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるよう行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 46-113、T46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T47-101、T47-201）

科目名	対象者に合わせた効果的な情報提供方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 食に関する指導を行う上で、指導内容が効果的に対象者に伝わるような方法を習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 学校栄養（G47）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T47-104、T47-204）

科目名	ポピュレーション対策としての生活習慣病予防	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 成人期の食について理解して、実践力を身につける（訪問する力、聞く力、まとめる力等、力量形成をはかる）。健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防に努め、住民が主体的に健康づくりを実践できるよう支援する力を身につける。</p> <p>【講義内容】【演習】 公衆栄養（P47）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T47-107、T47-207）

科目名	食育と地域貢献	単位数	講義 1 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 ①地域に根ざした、食育活動ができる。 ②伝統的な郷土食の伝承と地域の産物を活かしたレシピの開発ができる。</p> <p>【講義内容】 ・ 地域の実態・ニーズを知るための方法 ・ 地域に情報を発信する方法 ・ 他職種連携、協働のあり方</p> <p>【演習】 行事やイベントにおける食育や企画提案の方法と、効果的なプレゼンテーション</p> <p>【実習】 郷土食の習得、地域の産物を使ったレシピ開発</p> <p>【参考図書】 「新・ふるさとの味ー栄養士が選んだヘルシー料理」日本栄養士会全国地域活動栄養士協議会編</p>			

地域栄養（項目番号：T 411-101、T411-201）

科目名	チーム医療	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】 チーム医療における管理栄養士・栄養士の役割について学ぶ。 ①各チームの特徴とチームの一員としての栄養管理技術を習得する。 ②チーム医療に参画し、管理栄養士・栄養士の役割を果たすことができる。 a) 栄養サポートチーム、b) 褥瘡対策チーム、c) 緩和ケアチーム、d) 糖尿病教育チーム、 e) 感染対策チーム、f) 心臓リハチーム、g) 摂食嚥下チームなど</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R411）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 411-102、T411-202）

科目名	クリティカルパス	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①クリティカルパスの必要性とその意義について、疾患別の標準的な治療計画書と栄養管理計画から効果的な運用について知識を習得する。</p> <p>②クリニカルパスの作成：栄養管理の精度を高めるための計画を提案し、定期的な見直しを行うためのポイントを学びパスを作成する。</p> <p>③食事提供の視点、栄養食事指導、栄養介入・評価の視点から、パスを検討し、効果的に運用することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R411）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 412-101、T412 - 201）

科目名	医療連携	単位数	講義 2 単位 演習 2 単位
<p>【目標】</p> <p>医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。</p> <p>地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。</p> <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R412）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>児童生徒が食に関する理解を深め、日常の生活の中で実践していくためには、家庭や地域と連携を図ることが必要である。その考え方や方法を習得し、学校・家庭・地域との連携・調整の要としての役割を果たすことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G412）に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 412-103）

科目名	地域連携②	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①地域の栄養ケア・ステーションシステムの現状把握と、活動概要を知る。</p> <p>②地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能を知る。</p> <p>③訪問栄養食事指導の流れについて知る。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養 G412 に準じる。</p>			

地域栄養（項目番号：T 412-105、T412-205）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <p>①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（介護、介護予防、障害等）の課題を把握できる。</p> <p>②地域関係機関と連携し、課題解決に向け、地域の高齢者、障害者に応じた栄養マネジメント、ライフステージにおける食育等を実践できる。</p>			

③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。
【講義内容】 福祉栄養 FS412・FG412 に準じる。

地域栄養（項目番号：T 50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。 【講義内容】 給食管理 K50 に準じる			

地域栄養（項目番号：T 61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。 ②非常食に関する備えや運用について説明できる。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。 【講義内容】 臨床栄養 R61 に準じる。			

地域栄養（項目番号：T 61-102、T61-202）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
【目標】 地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。 ①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。 ②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。 【講義内容】 【演習】 公衆衛生 P61 に準じる。			

地域栄養（項目番号：T71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。			

地域栄養（項目番号：T80-102）

科目名	関係法規	単位数	講義 2 単位
【目標】 日常業務を遂行する上での行政業務と根拠法令を理解する。 【講義内容】 公衆栄養（P80）に準じる。			

地域栄養（項目番号：T90-103、T90-203）

科目名	開業栄養士としての基礎知識	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 経営ノウハウを学び、個人事業主として、社会的信用・信頼を得て、収入の得られる仕事を獲得し、開業栄養士として、事業を継続することができる（開始することができる）。</p> <p>【講義内容】</p> <p>1) 開業の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業の心得（メリット・デメリット、個人と法人の違い） ・起業の形態（法人、個人、その他） ・開業手順（開業届けの出し方、屋号について、個人事業主の義務） ・業務に必要なハード・ソフトについて（パソコン・ipad・会計ソフト・栄養計算ソフトなど） <p>2) 財務管理の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理の基礎（記帳について 日々・月1回・年1回） ・個人事業主の確定申告（白色申告・青色申告） ・国民健康保険と国民年金について <p>3) 求められる非常勤の働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション力をつける（仕事獲得のため、企画説明など） ・マーケティング（仕事との出会い方）仕事の獲得 ・効果的な情報提供 ・集客方法・顧客化の仕方（受講者フォロー） <p>4) 帳簿類の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金や補助金、公的融資制度について ・経理（具体的な記帳方法） ・確定申告の仕方 <p>【演習】 上記に基づいた演習</p> <p>【参考図書】 開業栄養士のビジネス戦略 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」</p>			

地域栄養（項目番号：T90-104、T90-204）

科目名	地域活動栄養士としての基本	単位数	講義 3 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 地域で活動する管理栄養士・栄養士のあり方を理解し、実践できる。</p> <p>①管理栄養士・栄養士と、他の「食」に関係する職種や資格との違いについて考え、仕事のあり方の違いを栄養士自身が明確にできる。</p> <p>②自分に必要なスキルは何かを理解し、目標を明確にすることができる。</p> <p>③仲間を集める・情報を集める・仕事を集めるためのネットワークづくりができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動栄養士の特性と意義…有資格者としての果たすべき役割 ・個人事業者としての栄養士業務…地域の中での立ち位置を明確にするためのニーズの捉え方、対応方法 ・地域で仕事をする上で必要な多職種連携とネットワークづくり <p>【演習：シンポジウム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動実践者よりの活動事例紹介 ・グループワークで情報交換 ・地域で活動している他団体との情報交換 			

7) 福祉栄養（高齢・障がい）分野

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS21-102~103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。 【講義内容】 【講義内容】健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-101~111）

科目名	病態栄養	単位数	講義 6 単位
【目標】 疾患と病態栄養、栄養・食事療法について理解し、効果的な栄養の指導を行うことができる。 【講義内容】 臨床栄養（R23）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-112）

科目名	食物アレルギー	単位数	講義 1 単位
【目標】 食物アレルギーの病院におけるガイドラインを周知し、常食・治療食におけるアレルギー代替食を提供するスキルを習得し実践できる。また、食物アレルギーに対する栄養指導を適切に行うことができる。 【講義内容】 臨床栄養（R23）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-118、FS23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】 ・ 摂食・嚥下機能のメカニズム ・ 加齢、認知症、障害等に伴う、摂食・嚥下機能の未発達や変化 ・ 口腔ケアと食事の支援方法 【演習】 摂食・嚥下機能を理解した上での口腔ケアと食事支援の技術			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-119）

科目名	認知症	単位数	講義 1 単位
【目標】 認知症の病態と特徴を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。 【講義内容】 ・ 認知症の発生要因と病態について ・ 認知症ケアにおける視点 ・ 食事支援の考え方、方法			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-120）

科目名	褥瘡	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 褥瘡の発生要因と病態を理解し、褥瘡の予防、治療に向けた環境、栄養管理を理解する。褥瘡の予防、治療ガイドラインに基づき、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の発生要因と病態 ・褥瘡予防、治療ガイドライン ・褥瘡予防、治療に向けた環境対応への知識 ・褥瘡予防、治療に向けた栄養管理 			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-121）

科目名	COPD とサルコペニア	単位数	講義 2 単位
<p>【目標】 COPD とサルコペニアの発生要因と病態、治療に向けた環境、栄養管理を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COPD とサルコペニアの発生要因と病態 ・COPD とサルコペニアの予防、治療に向けた環境対応への知識 ・COPD とサルコペニアの予防、治療に向けた栄養管理 			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS23-122）

科目名	高齢期の栄養状態	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 高齢期の栄養状態の特徴を理解し栄養マネジメントに繋げることができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養 ・水分 ・食行動と心理 			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS30-101）

科目名	療養食	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 療養食の種類と特徴、療養食加算申請と療養食提供の手順を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養食の種類と特徴 ・療養食加算申請と提供の手順 ・療養食の評価 			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS30-102）

科目名	障がい特性	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病などの特性を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した栄養の指導を実践できる。</p>			

【講義内容】

- ・障がいの特性と食べる機能・消化機能
- ・食事の介助・食事支援の方法

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS 37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食運営施設における衛生管理基準を理解し、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得し、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K37）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS44-101）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
【目標】 栄養アセスメントで得られたデータを用いて、栄養処方、栄養介入によって解決あるいは改善を図ることができる栄養問題を総合的に判断し、標準化された栄養診断用語を用いて記録することができる。 【講義内容】 臨床栄養（R44）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS45-108、FS45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた「栄養の指導」ができる。 【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法 ・経腸栄養剤や補助剤の種類と内容 ・静脈栄養の種類と内容 ・栄養補給法の選択と評価 【演習】 事例に基づき、利用者の病態、身体機能、生活を理解した上での栄養補給法提案に向けた検討、討議			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS46-104、FS46-204）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 4 単位
【目標】 ①介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。			

②施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。

【講義内容】

- ・ 介護保険施設・障害者（児）施設における栄養ケアプラン
- ・ ICFに基づいた24時間シート
- ・ 施設ケアプランに基づいた栄養ケアプランの作成
- ・ 栄養ケアプランの評価

【演習】

事例に基づき栄養ケアプランの作成、ロールプレイ、討議

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS46-105、FS46-205）

科目名	食事指導技術	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 地域で生活する高齢者・障がいのニーズに応じた実用的な「栄養の指導」ができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅ケアにおける、食事・栄養に関するニーズの把握 ・ 対象者の状況を判断し、実用的な調理、食事指導の進め方の検討 <p>【演習】 地域で生活する高齢者・障がい者等の在宅療養者のニーズに応じた献立・調理、食事支援の方法等の実践と討議</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS46-113、FS46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢、障がい児（者）のコミュニケーションの特徴 ・ 相手の気持ちを理解するには <p>【演習】 相手の気持ちを理解する</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS47-103、FS47-203）

科目名	栄養指導（集団）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①同じ疾患を持った集団に対しての指導内容を計画・立案し、スムーズな運営ができる。 ②指導・教室のグループダイナミクスの効果発揮ができる運営が行なえる。 ③会話をとおして対象者の心理をつかむことができ、対象者の心理ステージに合わせた指導技法を駆使することができる。 <p>【講義内容】【演習】 臨床栄養（R47）に準じる。</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS412-101、FS412-201）

科目名	医療連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 医療福祉現場は、急性期病院、療養型病院、介護施設、グループホームなど施設の機能分化が進んでいて、長期的な支援が必要となる高齢者においては、複数の医療機関での治療が必要となるケースが多くみられる。栄養管理に関する情報は、患者治療や療養において重要である。</p>			

地域医療連携の意義と実践にあたり必要な知識とスキルを習得し、医療連携を推進することができる。

【講義内容】【演習】臨床栄養（R412）に準じる。

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS412-103）

科目名	地域連携②	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①地域の栄養ケア・ステーションシステムの現状把握と、活動概要を知る。 ②地域の保健医療計画の理解し、地域の在宅医療・介護等の機能を知る。 ③訪問栄養食事指導の流れについて知る。 【講義内容】 公衆栄養（P412）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS412-105、FS412-205）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 ①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（介護、介護予防、障害等）の課題を把握できる。 ②地域関係機関と連携し、課題解決に向け、地域の高齢者、障害者に応じた栄養マネジメント、ライフステージにおける食育等を実践できる。 ③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。 【講義内容】 ・ 都道府県・市町村における、健康日本 21（第 2 次）、第 2 次食育推進基本計画等の栄養施策 ・ 都道府県・市町村・地域における福祉の課題 ・ 課題解決に向けた、地域関係機関との連携（介護予防、地域医療連携、地域における食事支援の取組み等） ・ 退所時の栄養サマリーの作成 【演習】 地域関係機関の連携による、課題解決に向けた取組みを討議			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS 50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。 ②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。 ③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。 ④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。 【講義内容】 臨床栄養（R50）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS 50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。 【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。 ②非常食に関する備えや運用について説明できる。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準じる。</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS61-102）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。 ①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。 ②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P61）に準じる。</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行うことができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R72）に準じる。</p>			

福祉栄養（高齢・障がい）（項目番号：FS80-103）

科目名	福祉関連法規・制度の理解	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 ①社会情勢の変化、根拠となる法律、社会保障制度の成り立ち等を学び、福祉の基本理念、福祉行政における福祉施設の役割を理解できる。 ②施設の目的、役割、業務内容を再確認し、制度等のこれからの動向を踏まえた業務の見直しができる。 ③福祉施設に勤務する職員として、広い視野を培うことで業務に反映することができる。</p> <p>【講義内容】 ・ 社会保障制度の変遷と改革の方向性 ・ 介護保険制度（施設サービス、居宅サービス、介護予防等） ・ 障害者総合支援法、障害福祉サービス等の体系</p>			

8) 福祉栄養（児童）分野

福祉栄養（児童）（項目番号：FG21-102~103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG21-105~108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、活用する。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-112、FG23-212）

科目名	食物アレルギー（乳幼児期）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」及び食物アレルギーの最新情報を理解し活用できる。成長・発達・生活に応じた適切な個別指導計画（緊急時の対応を含む）を家庭と一体となり実践できる。 【講義内容】 ・食物アレルギーの最新情報 ・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」と活用 ・代替食の考え方 ・摂食・誤食防止への対応 【演習】 誤食時の対応（エピペンの使用について）、事例に基づく討議			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-113、FG23-213）

科目名	授乳・離乳の支援ガイド	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 「授乳・離乳の支援ガイド」を理解し、成長・発達・生活に応じた、適切な栄養の指導ができる。母子手帳を活用し、家庭と一体となった離乳支援が実践でき、保護者の相談に応じることで、子育てを支援することができる。 【講義内容】 ・「授乳・離乳の支援ガイド」 ・授乳・離乳に関する現状と課題 ・母子手帳の活用 【演習】 事例に基づき離乳の進め方の事例検討			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-114）

科目名	小児の発育・発達	単位数	講義 3 単位
【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた「栄養の指導」をすることができる。			

【講義内容】

- ・ 子どもの発育・発達
- ・ 精神的発達の特徴の理解
- ・ 子どもの特徴を把握した指導

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-115）

科目名	小児の栄養	単位数	講義 3 単位
【目標】 小児の疾患と病態栄養、栄養療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を実践することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消化器疾患（嘔吐、下痢、便秘） ・ その他の小児疾患 ・ 肥満、痩せ 			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-118、FG23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。			
【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS23）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG25-102）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 3 単位
【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養食事指導ができる。			
【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FS30-102）

科目名	障がい特性	単位数	講義 1 単位
【目標】 身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病などの特性を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。			
【講義内容】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS30）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食運営施設における衛生管理基準を理解し、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得し、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K37）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG44-102）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
【目標】 発育測定等でのデータや成長曲線作成、食事摂取状況などから個々の児童生徒の発達について総合的に栄養診断ができる。 【講義内容】 学校栄養（G44）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG45-108、FG45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた「栄養の指導」ができる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS45）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-103）

科目名	個別指導計画の作成	単位数	講義 1 単位
【目標】 児童福祉施設で作成している保育計画・指導計画を学び、利用者の状況に応じた個別指導計画の作成を理解し、実践、評価することができる。 【講義内容】 ・施設の保育計画に基づいた個別指導計画の作成 ・個別指導計画の評価			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-104、FG46-204）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 4 単位
【目標】 ①介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。 ②施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS46）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-109）

科目名	個別指導（食事指導・食事管理）	単位数	講義 3 単位
【目標】 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した個別指導の実際について習得し、実践できる。 【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるように行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-113、FG46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-101、FG47-201）

科目名	対象者に合わせた効果的な情報提供方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 食に関する指導を行う上で、指導内容が効果的に対象者に伝わるような方法を習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 学校栄養（G47）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-102）

科目名	集団栄養指導	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学級・学年・全校集会・保護者対象等、食育を行う集団に合わせた指導について理解し、計画立案、教材作成、指導を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G47）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-105）

科目名	食育の計画の評価	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①児童福祉施設の理念、方針、保育課程に位置づく「食育の計画」の必要性を確認し、食育の視点を含めた「食育の計画」作成に関わることができる。 ②食事提供に関する計画の評価、改善に取組み、全職員で評価、改善に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食育の計画」の意義 ・ 「食育の計画」の作成 ・ 「食育の計画」の展開と評価 			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-106、FG47-206）

科目名	食育の実践	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①課題の発見から検討、課題解決に向けた議論を施設全体で行い、効果的な指導の手法を学び、適切に選択できる。</p>			

②目的に添った指導内容を計画・立案・実践することができる。

【講義内容】

- ・ 課題の発見、整理
- ・ 指導の計画、立案、実践
- ・ 効果的な指導技術とは

【演習】

実践事例に基づき討議

福祉栄養（項目番号：FG 412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
【目標】 保護者・地域住民との関わりや地域の生産者との円滑な交流などを通して、食育の推進に共通理解を図り、協力を得ることができるよう、食育コーディネーターとしての役割を果たすことができる。			
【講義内容】 学校栄養（G412）に準じる			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG412-105、FG412-205）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 ①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（児童福祉施策・子ども子育て会議等）の課題を把握できる。 ②地域関係機関と連携し、課題解決に向けライフステージにおける食育、利用者に応じた栄養マネジメント等を実践することができる。 ③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。			
【講義内容】 ・ 都道府県・市町村における、健康日本 21（第二次）、第 2 次食育推進基本計画等の栄養施策 ・ 都道府県・市町村・地域における児童福祉の課題（子ども・子育てビジョン・健やか親子 21 等） ・ 課題解決に向けた、地域関係機関との連携（地域における食育活動の取組み等）			
【演習】 地域関係機関の連携による、課題解決に向けた取組みを討議			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。 ②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。 ③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。 ④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。			
【講義内容】 臨床栄養（R50）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。			
【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。 ②非常食に関する備えや運用について説明できる。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG61-102）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。</p> <p>①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。</p> <p>②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P61）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行う事ができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R72）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG80-104）

科目名	福祉関連法規・制度の理解	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 ①社会情勢の変化、根拠となる法律、社会保障制度の成り立ち等を学び、福祉の基本理念、福祉行政における福祉施設の役割を理解できる。 ②施設の目的、役割、業務内容を再確認し、制度等のこれからの動向を踏まえた業務の見直しができる。 ③福祉施設に勤務する職員として、広い視野を培うことで業務に反映することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障制度の変遷と改革の方向性 ・ 子ども子育て関連 3 法、保育所保育指針等 ・ 児童虐待、社会的養護体制の現状と今後の方向性 			